



三郷駅前
まち育て
プロジェクト

REPORT BOOK 3

レポートブック3



お問い合わせ

市役所三郷駅周辺整備推進室 TEL: 0561-76-8182

<https://35project.com/>

三郷駅前まち育てプロジェクト

@35proj

<https://www.facebook.com/groups/35proj>

イベントのお知らせを
メールでお伝えします！



登録フォーム



WEBサイト



FaceBook



35フレンズの結成！ p3

2. 市民発表会 p4,5

3. 35社会実験 p6,7

4. まち育てフォーラム p8,9

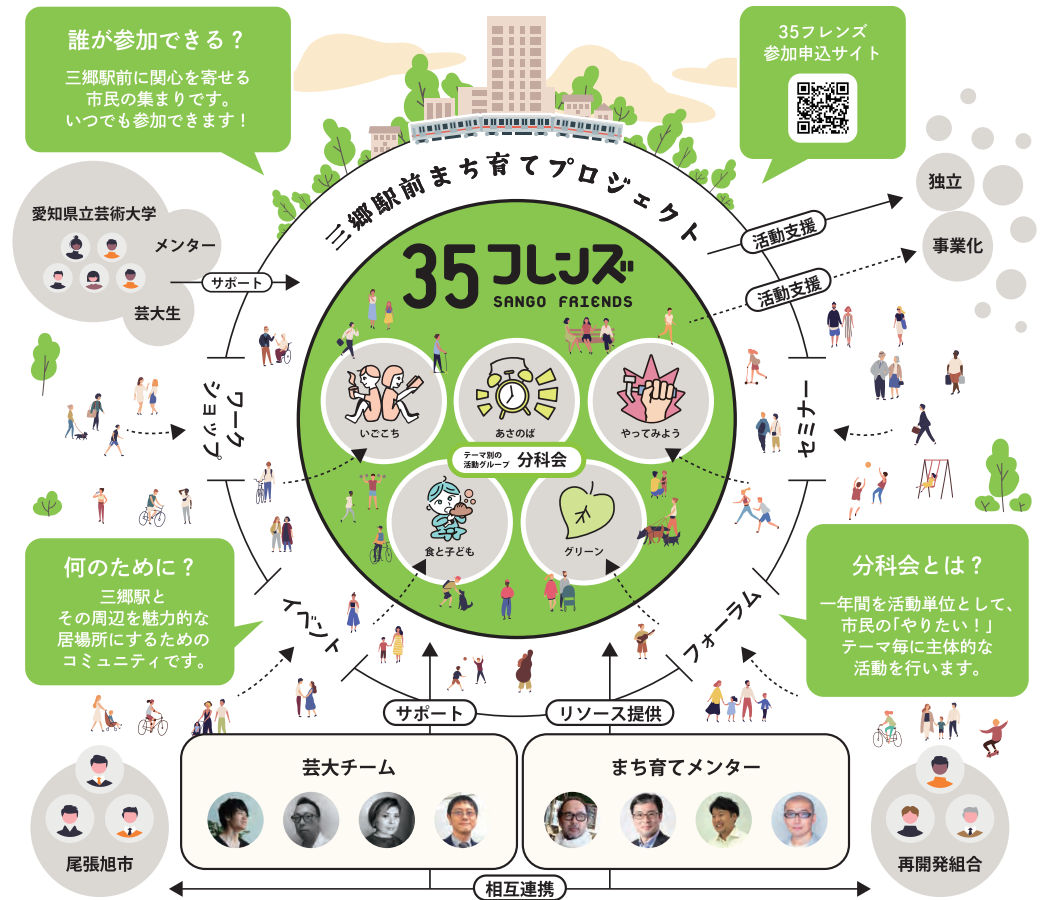
5. フォーラムを終えて p10

6. これまでと、これからのまち育て p11

2023年度の活動



35フレンズの結成！ 5つの分科会の誕生！



三郷駅再開発に関心を寄せる市民

35フレンズ(まちを良くしたい)

市民の関心を軸に5つの分科会発足

- 🌳 いごち分科会 … 待合空間、改札前、カフェ、本屋
- 🏃 あさのぼ 35分科会 … フィットネス、広場、イベント、散歩
- 👨‍👩‍👧 食と子ども分科会 … 飲食店、遊び場、安全、育児
- 🌿 グリーン分科会 … 自然、景観、清掃、メディア
- 🔪 やってみよう会 (分科会) … イベント、DIY、防災、その他

35フレンズは2027年(予定)にオープンする新しい三郷駅とその周辺の街を、魅力的で市民に愛され親しまれる居場所にするために、地域社会の学習を目的としたワークショップや様々な機能の仮説検証のための社会実験などの「まち育て活動」において主体となる市民グループです。

新たな三郷駅が完成する頃までに、「最強のまち育てチーム」になっていることをめざしています。「まちをよくしたい」と思う市民がいつでも新たに参加できる、仕事や家庭の都合で一旦離れてもいつでも戻ってこられる、お互いに学び合い切磋琢磨できる、そんなあたたかいコミュニティに育てていきましょう。

市民発表会



未来の三郷駅前で継続的な活動を行うため、分科会として実現したい具体的な駅前空間を再開発組合に提案し、組合の皆さんと意見交換しました。

35フレンズの5つの分科会が再開発組合に対して提案しました！



グリーン分科会

森林公園の玄関口として、緑がたっぷりの駅前へ

MORI MORI
駅前緑化市民グループ 森守団
緑の手入れや普及啓発により交流を深め、駅周辺のまちを緑豊かにする取り組みを行う。

提案空間

- ① 緑のあるラウンジ
- ② みどりの保健室
- ③ 緑に囲まれた図書館

キーワード

- ・ 緑の中に防犯カメラ
- ・ 屋内にも緑を感じる
- ・ シンボリックな植物
- ・ 限られた空間を緑豊かに
- ・ 森のかけらを町へ

三郷駅を
花や緑でいっぱいのミニ森林公園駅に

里山ユニット
みんなの森計画

<https://www.5baimidori.com/morika/lineup/>

いごこち分科会

つい立ち寄りたくなるいごこちの良い場所へ



提案空間

- ① ステーション＆コマース
- ② ステーション＆グリーン
- ③ 三郷市場 いごこち良いしかけづくり

キーワード

- ・ 商業施設との親和性
- ・ プレイスメイキング
…空間の居心地が良くなり、楽しいコンテンツが生まれ、賑わい、まちの価値が上がっていくこと
- ・ SDGs
- ・ 交通アクセス
- ・ 多様性

いごこち酒場

いらっしやいませ！

石川県 金沢市
近江町いちば館

<https://ohmicho-ichiba.com/>

あさのぼ35分科会

誰もがいつでも出入りできる、隙間や余白のある開かれた場所へ

提案空間

- ① 学習空間
- ② 開架図書
- ③ 運動スペース

キーワード

- ・ 朝活
- ・ 多孔性 個×つながり
- ・ オープン＆クローズド
- ・ 静×動
- ・ 若×老
- ・ 健康

実現してほしいこと

愛知県 / 長久手市 / ぼちぼち長屋

<https://gojikaramura.jp/jigyousyo/jigyousyo-11/>

食と子ども分科会

子育て世代を軸に多世代が関われるおしゃれな場所へ



提案空間

- ① 35カフェ
- ② 35ラウンジ
- ③ 35エキサイト

キーワード

- ・ 電車が見えるカフェ×キッズスペース
- ・ 多様な人が訪れる開放的空間×本
- ・ 家族と立ち寄れる広い横丁
- ・ 乳幼児向けのお洒落なサービス
- ・ 1DAY・チャレンジショップ
- ・ キッズニアや障がい者福祉の店

障がいのあるスタッフスターバックス nonowa 国立店

https://www.starbucks.co.jp/press_release/pr2020-3511.php

やってみよう会（分科会）

気軽にやってみたいを実現できるみんなのワークスペース

提案空間

- ① 駅前キャンプ
- ② キッチンスタジオ
- ③ 工房・ギャラリー

キーワード

- ・ 火が使える場
- ・ 防災CAMP
- ・ アウトドア
- ・ 地元銘菓
- ・ 体験学習

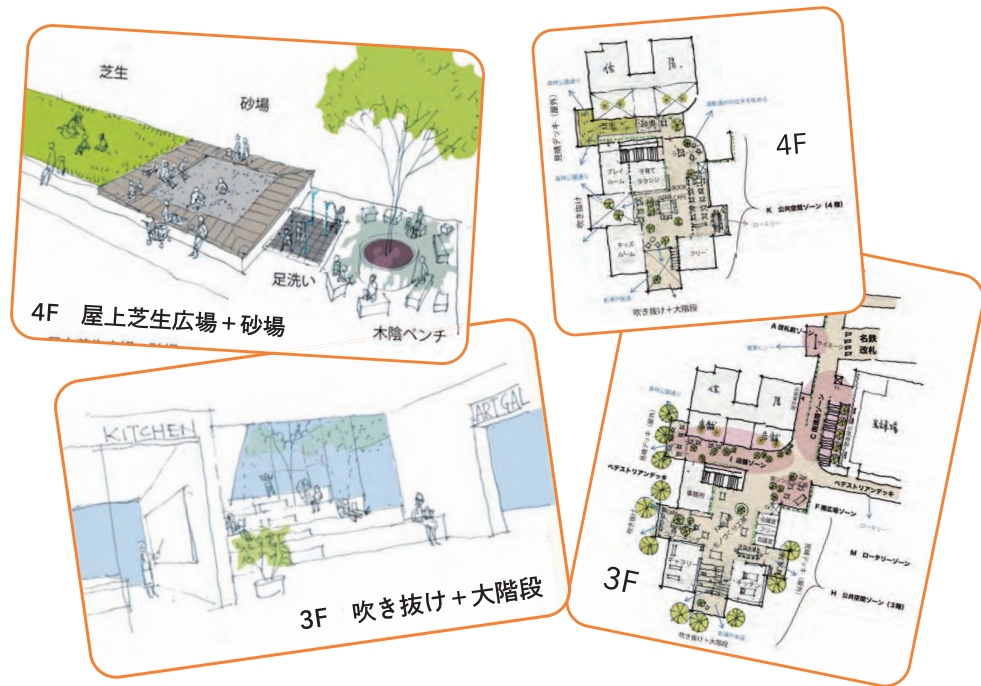
とある会話

東京都 / キャンプ練習場 campass

<https://www.jrtk.jp/campass/>



35社会実験 「未来の三郷駅前を体験しよう！」



芸大チームが提案した公共空間のイメージ(上図)をもとにして、市民が社会実験を企画しました。

商業空間と公共空間とを「有機的に混ぜる」ことを意識し、全てのフロアから「森」を感じる屋内外を貫く印象を大事にしました。足の遠のく4階に子どもが行きたがる場所を作り、上下階をつなぐ吹き抜けによって人の活気を対流させ、施設に用いない通り抜けの人さえも巻き込む1階(グランドレベル)には、三郷市場の賑わいを想定しました。

愛知県立芸術大学 水津 功 教授

再開発事業では、商業施設、公共施設、および住宅の機能が複合した建物群が生み出されます。このうち、公共施設(広場など含む)で実現したい活動や空間の一部を仮設的に再現する社会実験をイトーヨーカドーのオープンスペースを使って行いました。

岡崎まち育てセンター・りた 理事 三矢 勝司



駅前で実現したい活動や空間イメージをもとに、イトーヨーカドー屋外広場を未来の三郷駅前に見立てて35フレンズの「やりたい!」を形にしました。

お福分けマルシェ

福FUKU笑い
35フレンズと一緒に選んで、参加者に子ども服をおすそわけしました!



福BOOK朗
ミステリーブック形式の包装した本を参加者におすそわけしました!



おもしろマルシェ

未来の三郷駅をブロックで作ろう! 35駅前スタンプラリー
子ども達が理想の三郷駅前を作りました! 全エリアを楽しめる企画になりました!



創作風景をもとに物語をつくろう!
誰もが楽しめるアトリエになりました!



森のかげらをつくろう

森のかげら展示コーナー
ミニプランター「森のかげら」を育てる仲間を増やしました!



森のめぐみで作業しよう!
地元の大工さんと親子でデコレーション作業を楽しみました!



食から考える未来

おからで簡単みそ作り&五平餅作り
おからからみそを作る体験ワークショップを通して、子ども達が料理の楽しさと食べ物大切さを楽しみながら気づく場になりました!



防災CAMP

防災CAMPを体験しよう!
火を「つける」「つかう」「けす」を通して防災意識を高めるとともに、自然と人が集まる居場所を作りました!



市民主体の社会実験に合わせて、再開発事業の設計者((株)アール・アイ・エー)により、人工芝生が設置されました。

私たちが引き続き、35スタジオ(p10参照)の活動も続けていき、皆様に愛される再開発施設を計画できるように尽力させていただきます。



まち育てフォーラム ～駅前再開発と共鳴する人とまち～



これまでの活動を振り返り、三郷駅前再開発をきっかけに広がる市民の自主活動について、市民とまちづくりの専門家で語り合いました。

2023年度の35フレンズ活動報告 登壇した35フレンズ(市民)のご紹介



いなぎ ゆきこ
稲垣 由紀子 さん



鳥と子ども

子育てがひと段落して、自分の住む街だからこそ、何らかの形で関わられることに、楽しさを感じました！



やまだ まきこ
山田 麻記子 さん



グリーン

花や緑が好き、と言う理由で始めた活動ですが環境保護についても興味を持つようになり改めて、植物の魅力や奥深さを実感しました！



にしお とわこ
西尾 十和子 さん



お助けマルシェ

35フレンズには様々な経験値やスキルをもつ方がいて、日頃の活動などからたくさん学ばせていただきました！



まつお なりあき
松尾 成昭 さん



あさのい



防災CAMP

様々な経験や専門領域を持った方々とつながることでアイデアを具現化し、アウトプットできることを体感しました！

基調講演 「まちを育てる」 南万騎が原駅と左近山二つの事例から



くまがい げん
熊谷 玄氏

ランドスケープデザイナー。現代美術作家Studio崔在銀のアシスタントearthscape inc.を経て、2009年3月STGK Inc. (株式会社スタジオゲンクマガイ) 設立。ランドスケープを中心に人と場所を紡ぐ物語を生み出すデザインに取り組んでいる。愛知県立芸術大学(2011-)をはじめ、多くの大学で非常勤講師を務める。一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟理事。
<https://stgk.jp/JP>

MINAMAKI MIRAI
南万騎が原駅 みなまきみらいプロジェクト

「駅に行く新しい目的をつくる。」
多様な市民活動が行われている場所へ

<https://www.sotetsufudosan.co.jp/machi/minamaki/>

1%の異人がまちを変える 左近山団地

1%の「異人」がまちを「面白がり繋がる」ことで、左近山での豊かなライフスタイルを可視化し、次の住まい手とつながる。

<https://stgk.jp/JP/projects/sakonoyama/>

< 熊谷先生の基調講演を受けて >

松尾さん：左近山の事例で、「未来の話をしすぎると、そこに首から住んでいる方が不要な存在のように感じられてしまう」という問題にどう向き合っているのかが、印象に残りました。その解決策の一つとしてなぜアートに辿り着いたのでしょうか？

熊谷先生：左近山の方々には「みんな同じ」を目標とすることに、かなり気をつけていると感じました。絵が好き、歌が好きなど、みんなとは違う“自分の好き”で繋がることができると気づいたのがきっかけです。上下関係もそこにはなくて、自分が何かを表現するというのを誰かが受け止めてくれる体験は、いくつになっても嬉しいと思います。それが今の左近山が持っている、課題の突破口になるなと思いました。

稲垣さん：私もやってみたいと共感することがたくさんありました。これまで自分が想像していることが「本当に実現できるのかな」と思っていたのですが、“楽しむ”ことを前提にMINAMAKIラボや直売所、カフェで交代して働くなど、「本当にできるんだ！」と実現の可能性を感じました。

熊谷先生：思いついたことは全部やってみる事が大事だと思います。諦めるまで失敗でなく、結果が出るまでやり続けることと自然と良くなるというのが、これまでの実感です！

山田さん：私は植物を紹介するプレートが気になりました。植物「イヌツゲ」を紹介されていて、こうした展示の仕方で身近な植物に興味を持つきっかけが作れると思いました。また、「写ルンです」で、子ども達と街の写真を撮るプロジェクトは、スマホ世代の子たちと世代間交流する手段の一つとして、「限られたモノで何ができるか」を体験できるイベントも大変貴重だなと思いました。

西尾さん：私も「世代が混ざるコミュニティを作らないと町は育たない」というのが印象的で、高齢の方が作ったマップで子ども達が歩くといった企画は、とても楽しそうだなと思いました。「駅に行く新しい目的を作る」というのが、私も今は駅は電車に乗るためにしか行かないので、新しい目的、楽しい目的が作れると良いなと思いました。

まなびば35

誰もが立ち寄れる学習空間 イトヨーカドー尾張旭店 2階

35フレンズのこれまでの議論の中で、駅周辺で安心して自習できる空間を確保したい！という夢が語られてきました。こうした思いが、駅前再開発に先んじて、あさのい35分科会を中心に、イトヨーカドーさんとの協力によって、2024年2月に実現しました。



イトヨーカドー尾張旭店
ないう
内藤 店長

私も思いついたことは全部やってみたくタイプなので、皆様の活動にご協力できたらと思います！



次の住まい手の探し方。まちでの暮らしを楽しむことができる場を作ることで
色々な世代が混ざるようなコミュニティがうまれるのだろうか？
そして、そんな暮らし方を発信することで共感をもって、暮らしたいと思う人を増やしていきたい。

フォーラムを終えて

フォーラム振り返り会で
35フレンズ市民から
2024年度の新たなアイデア
がたくさん生まれました！

イトーヨーカドー 屋上キャンプ構想



公共、民間の別を越え、居心地のいい町を実現したい市民アクションにとって魅力的な町の資源はたくさんあります。今回はイトーヨーカドー尾張旭店様の協力により、建物の屋内外において未来の三郷につながる試行錯誤が出来るそうです。35スタジオに引き続き、町に積極的に関わる市民の拠点となることを願っています。

三郷駅前まち育てプロジェクトリーダー 水津 功 (愛知県立芸術大学教授)

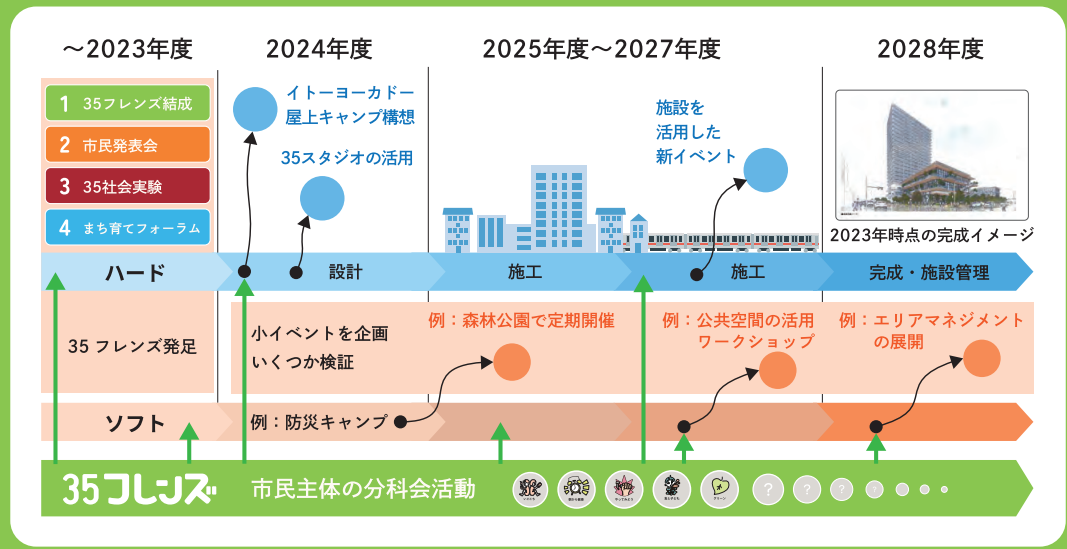
「社会実験の会場としてイトーヨーカドーをお借りし、その後駅前再開発で実践」つまり「イトーヨーカドーは準備運動、本番は駅前」と考えていました。しかし今年度の実践を経て「夢を叶える一つの舞台がイトーヨーカドー、次が駅前、その次は…」と考えるようになりました。今後も駅周辺エリアを魅力的にしていきたいです。

岡崎まち育てセンター・りた 理事 三矢 勝司

今年一年35フレンズの活動を拝見してきて、様々な意見や活動が生まれ、市民の想いがいよいよ形になってきたと感じています。市民の皆様からの意見や提案を取り込めるかどうか、再開発の成功の一つのカギだと思っています。可能な限り反映し、再開発後は電車の乗り降りだけでなく、人々が集い楽しめる場所にしたいと思います。

三郷駅前地区市街地再開発組合 理事長 秋田 誠三

これまでと、これからのまち育て



三郷駅前まち育てプロジェクトは、駅前開発を核として周辺エリアの価値を高めることを目指しています。ここでいう価値向上とは、コミュニティ再生をはじめ、地域への誇りや愛着の形成、経済活動の活性化、物々交換や寄付を含めたやり取りの活性化を意味しています。一連の活動は、尾張旭市と愛知県立芸術大学がサポートしています。

これらのビジョンの実現に向けて、三郷駅周辺エリアに暮らし、働き、活動する様々な市民の「まちへの思い」を集め、相互に交流・対話を経て「未来のあるべき姿」を共創する場（ワークショップや社会実験、フォーラムなど）を企画運営しています。こうした場を通して新しい活動や仕組み、三郷を愛する市民の輪を育んでいます。

